**IELTS リスニング対策 概要と設問別攻略法**

IELTSのリスニングは全部で４つのセクションから成ります。  
リスニングの問題形式はおおまかに６種類あります。

ここでは、問題形式をひとつひとつ見ていきながら、  
IELTSに必要なリスニング力を効果的に上げていく方法をお伝えします。

１． 選択問題　基本的に三択問題が多い　難易度高め　（半分を目指す）

２． 空欄穴埋め問題　選択肢から選ぶ　難易度易しめ　（全問正解を目指す）

３． 空欄穴埋め問題　適切な語句を記入　（全問正解を目指す）

４． マッチング問題　選択肢から選ぶ　難易度中程度　（７割を目指す）

５． 質問応答　質問に対しての答えを選択肢から選ぶ　難易度高め　（半分を目指す）

６． マップ問題　難易度中程度　（６割を目指す）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| IELTS リスニング セクション | 場面 | 問題型式 | 注意点 |
| Part１ | 日常会話：電話での問い合わせなどの会話 | 穴埋め問題（適切な語句を入れる） | * "Write one word and a number for each answer"と指示されることが多い * 文法上、入る語句の品詞が予測できる |
| Part２ | 一人のスピーカーによる日常的なスピーチ：ミュージアムのイベント紹介など | 選択問題  選タイトル択問題＋マッチング  選択問題＋地図のマッチング問題 | * タイトルから話の内容を推測する * ガイダンスの時に先読みが必要 |
| Part３  最も難しい | アカデミックな内容の会話：グループ課題について数人で話し合うなど | 選択問題＋マッチング問題  選択問題＋質問応答 | * 問題文と解答のキーワードを先読みする |
| Part４ | 一人のスピーカーによるアカデミックな内容のトピック：生物のレクチャーなど | 穴埋め問題 | * 入る語句の品詞を予測する |

**IELTS リスニング・バンドスコア換算表**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| バンドスコア | 9.0 | 8.5 | 8.0 | 7.5 | 7.0 | 6.5 | 6.0 | 5.5 | 5.0 | 4.5 | 4.0 |
| スコア/40 | 39-40 | 37-38 | 35-36 | 32-34 | 30-31 | 26-29 | 23-25 | 18-22 | 16-17 | 13-15 | 10-12 |

**IELTS リスニングの注意事項：**

* IELTSのリスニングはリーディング能力も関わってきます。  
  実際のリスニングが始まる前に、なるべく多くの情報をあらかじめつかんでおくことが高得点を取るために非常に重要となります。
* リスニングとはいえ、スペルが問われる問題もあるため、スペルミスには要注意。
* 複数形か単数形が入るかは（抽象名詞の場合はどちらでもいい場合がありますが）文法的に判断しましょう。
* ケース・センシティブですので、固有名詞は大文字から書きましょう。  
  例）Thursday, John

|  |
| --- |
| *対策ポイント：*   * IELTS リスニング は聞きながら解答する形式なので、メモを取る必要はない * ガイダンスが流れている時に問題文と選択肢を先読みする！！　**☚これは非常に重要** * 問題文のタイトルや先読みから大体の内容を推測する * ブリティッシュアクセントや表現（"00"を「ダブルオー」と発音するなど）に慣れる   yy wy doble w   * 最後に解答を書き写す時間が10分間あるので、解答は問題用紙に書き込む |
|